

八代神社

小説家の三島由紀夫（1925～1970）は、この場所は神島で最も美しい場所のうちのひとつであると述べました。綿津見命（わたつみのみこと）と呼ばれる海の神を祀るこの神社には、昔から海での安全を祈願する地元の人々が参拝します。ここでは毎年恒例の祭りも開催されます。神社からは、海と周辺の島々、特に地元で神聖な場所とされている大築海島と小築海島の素晴らしい景色が楽しめます。眼下に見える家々の伝統的な瓦葺きの色鮮やかな屋根は、その向こうの深い青色の海との見事なコントラストを描いています。